

令和6年11月9日

予算決算総務環境分科会 会長報告

本分科会に分担された案件は、次の通り、議案7件です。

件名		表決の状況
議案第59号	令和6年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第2号) 〔歳入、歳出の総務費・労働費・土木費・消防費・公債費・諸支出金・債務負担行為・地方債〕	原案可決
議案第63号	令和6年度埼玉県和光市和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第64号	令和6年度埼玉県和光市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第65号	令和5年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算の認定について 〔歳入、歳出の議会費・総務費・衛生費のうち清掃費・労働費・農林水産業費・商工費・土木費・消防費・公債費・諸支出金・予備費・各款の給与費〕	認定
議案第69号	令和5年度埼玉県和光市和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第70号	令和5年度埼玉県和光市水道事業決算の認定及び剰余金の処分について	認定及び 原案可決

議案第71号	令和5年度埼玉県和光市下水道事業決算 の認定及び剰余金の処分について	認定及び 原案可決
--------	---------------------------------------	--------------

【本日の報告】

本日は、予算決算総務環境分科会に分担された議案のうち、令和5年度の決算審査の中から質疑と答弁をいくつか御紹介して、分科会長報告とさせていただきます。

●議案第65号 令和5年度埼玉県和光市一般会計歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 歳入の市民税で納税義務者が前年度に比べて均等割また所得割いずれも伸びている要因は。

答弁 人口の増加や雇用の改善傾向により、納税義務者数の増加、雇用所得が伸びたためだと考えております。

質問 広沢複合施設の整備について、PFI資産購入費として、前期も同金額だが、定額で毎年この金額で購入していく形なのか。

答弁 児童センタープール、保健センター、学童保育を建設したときに一度に払うお金と20年間、PFI事業期間中、定めた期間中、割賦払いするものと2種類に分けて契約をしております。その割賦払いの金額です。

質問 市庁舎吸収式冷温水機に対するおわび金の内容は。

答弁 庁舎の冷温水発生機、空調は川重冷熱製を使っております。こちらについて、不適切行為があったということが、令和4年中に発表され、市には令和5年の5月に川重冷熱工業からの説明と、それに対するおわびという形で、1台当たり10万円、庁舎は2台ですので、20万円のおわび金です。

質問 個人情報保護制度に関しては、令和5年の4月1日から条例に基づくものから法に基づくものになったが、和光市の状況は。

答弁 審議会の役割も大きく変わり、これまでの関係は個人情報の保護に該当するかとか、そういうところも審議会で判断させていただいたところでは。

質問 埼玉県分権推進交付金とは。

答弁 埼玉県分権推進交付金は、埼玉県から市に対して事務の権限移譲を受けている件数が今 89 件ございます。その 89 件に対する事務処理に要する経費として毎年度受けるものになっております。

質問 ばいじん運搬業務委託料の栗原市の額が昨年度よりも増えている理由は。

答弁 栗原市はばいじんを砕石等にリサイクルしており、少しでも多くリサイクルしたいという思いからこちらのほうに搬入量を増やしております。

質問 今後の最終処分場のキャパシティの可能年数は。

答弁 2社とも 15 年というスパンで受入れができるということです。

質問 和光市納税サポートセンター運営業務委託料の回収率は。

答弁 架電件数は、約3万 5,000 件になり、架電による納付実績は、年間1億 7,300 万円程度あります。また、税以外でも、介護保険料、後期高齢者医療保険料、学童クラブ保育料利用料につきましても架電をしております。

質問 財政管理業務の中の返還金 4,300 万円の内容は。

答弁 令和3年度、1億 6,456 万 5,000 円の普通交付税が交付され、翌年の令和4年度に、国のほうの交付税検査があり、その際に、報告に用いた数値に錯誤があったことが判明し、超過分 4,304 万 8,000 円を国に返還をしました。

●議案第69号 令和5年度埼玉県和光市和光都市計画事業和光市駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算

主な質疑と答弁

質問 和光市駅北口地区VR作成業務委託料、動画をどのように活用されているのか。

答弁 区画整理審議会であつたり、国や県との協議において活用しています。

●議案第70号 令和5年度埼玉県和光市水道事業決算の認定及び剰余金の処分

主な質疑と答弁

質問 経営戦略の中で分析して、実際の令和5年の決算との乖離があったのか。

答弁 経営戦略の分析結果とほぼ同等に進んでいると考えております。

質問 全国的に水道インフラの老朽化が社会課題になっているが、和光市の耐震化率は全国平均より高いのか。

答弁 全国平均に比べて高いものとなっております。

●議案第71号 令和5年度埼玉県和光市下水道事業決算の認定及び剰余金の処分

主な質疑と答弁

質問 下水道事業会計負担金、補助金が前年度に比べて 3,000 万近く上がっているが、その理由は。

答弁 下水道事業における財政構造の基本として、汚水と雨水に分かれており、汚水は使用料で、雨水は公費で賄うような仕組みになっております。雨水の経費を一般会計から負担金として頂く部分があるので、雨水にかかる経費が全体として上がったというのが大きな要因になります。

質問 管渠費(雨水)と、資産減耗費が大幅に増えている理由は。

答弁 雨水の管渠費は、令和5年度に下水道台帳システムの更新費が増えました。
資産減耗費は、布設していた管を除却したためのものです。

以上、御報告致しましたが、審査の主な内容については、分科会記録を御参照ください。